

令和2年度 海外帰国生徒の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 市2

千葉市立稲毛高等学校 全日制的課程 国際教養科

1 選抜資料

| | |
|-------------------|---|
| (1) 学力検査 | 5教科の学力検査の得点 |
| (2) 調査書 | 中学校の校長から送付された調査書 |
| (3) 面接 | 受検者1～5名・評価者3名の面接 (1グループ12分程度) |
| (4) 海外在住状況 説明書 | 実施要項(様式7)により、海外在住期間及びその前後の 教育歴等を説明したもの |

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

| 評価項目 | 評価基準 |
|----------|----------------------------------|
| 5教科の得点合計 | 5教科の得点(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。 |

(2) 調査書

アの数値に、才及び力について加点(上限30点)したものを調査書の得点とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|------------|--|
| ア 教科の学習の記録 | 算式1で算出した数値で評価する。 3年次に、評定1の教科がある場合、または英語の評価が 評定3以下の場合は審議の対象とする。 |
| イ 出欠の記録 | 各学年において20日以上欠席がある場合、審議の対象とする。 |
| ウ 行動の記録 | 総合的に判定する際の資料とする。 |
| エ 特別活動の記録 | 総合的に判定する際の資料とする。 |
| オ 部活動の記録 | ①部活動(10点満点) ②各種検定(10点満点) ③各種コンクール(10点満点) |
| カ 特記事項 | 以上の3点について、一定の基準を満たすものについて 加点する。 |
| キ 総合所見 | 総合的に判定する際の資料とする。 |

(3) 面接 [30点満点]

3名の評価者が次の3つの評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・
c(問題がある)の3段階で評価し点数化する。3名分を合計したものを評価点とする。
2名以上がc評価の場合は、審議の対象とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|---------|--|
| ア 志望の動機 | 志望の動機が明確である。 |
| イ 目的意識 | 学習や部活動への意欲、将来の目標が明確である。 |
| ウ 適性・態度 | 質問内容を把握し適切に回答することができる。服装や身 だしなみが整えられており、基本的な面接作法が身に付い ている。 |

(4) 海外在住状況説明書

| 評価項目 | 評価基準 |
|------|-----------------------------|
| 記載内容 | 出国前・海外在住中・帰国後の教育歴について資料とする。 |

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校の校長から送付された調査書、海外在住状況説明書等の書類の審査及び学力検査、面接検査の結果を資料とし、本校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。